

(別添 1)

(※本書式は、河川毎に作成し、原則として国土交通省(市区町村にあっては都道府県經由にて)に個別計画の提出時にあわせて提出願います)

令和 4 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都道府県名 又は 富山市 市区町村名					
河 川 名 村川水系村川 (準用河川)					
担 当 課 室 名 河川整備課改良係					
連 絡 先 076-443-2100					
事業名	村川水系村川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	富山市が管理する準用河村村川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：富山県富山市日方江～富山市田畑 【別図参照】				
実施予定期間	令和 4 年度～令和 6 年度 (3 年間)				土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書きで記載	令和 2 年度	—			第 4 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なり得る。
	令和 3 年度	—			
	令和 4 年度	60m3			
	令和 5 年度	60m3			
	令和 6 年度	60m3			
	計	180m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 2 年度	—	—	—	
	令和 3 年度	—	—	—	
	令和 4 年度	1,500	1,500	0	
	令和 5 年度	1,500	1,500	0	
	令和 6 年度	1,500	1,500	0	
	計	4,500	4,500	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 準用河村村川は市街地を流れる流路延長4.2kmの基幹河川であり、はん濫等が発生した場合の被害が甚大である。 ・ 準用河村村川では、経年的な土砂堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) しており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 4 年度現在、河道内の土砂堆積量は180m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 4 年度～令和 6 年度の 3 年間で、重点的に浚渫すべき区間を対象として180m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の計画断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量)：水位計及び雨量計設置による常時観測 (令和 3 年度より) ・ 水位計及び雨量情報のホームページでの公開 (令和 3 年度より) ・ 河川パトロール：原則年 1 回実施し、全河川区間を 5 年間で一巡できるよう範囲を設定 ・ 土砂堆積状況の把握：年 1 回のパトロール時に土砂堆積状況の定点観測				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 水位計及び雨量計設置箇所の複数化。 ・ 河川パトロールの頻度の向上。 ・ 土砂堆積状況の定点観測結果を活用して、地点毎での土砂堆積量を予測し、浚渫計画に反映。 ・ 発生土は公共残土置き場へ搬出予定				